

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU

WEEKLY REPORT No.1110

名古屋大須ロータリークラブ



<本年度会長方針> 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

<2010-2011年度 R.I.テーマ>

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith

第1307回例会

議事率向上月間

平成23年3月17日(木)

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 61名

52名中44名出席

出席率 84.62%

前々回出席率 96.08%

「ロータリーソング」

「我等の生業」

指揮者 伊藤 与則
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

久野接骨院 院長

久野 信彦さん

久野 信彦さんの奥様

久野 日恵さん

ニコボックス

卓話に久野信彦さんをお迎えして

久野信彦さん 卓話よろしくお願

いします。 丹下 富博

震災お見舞。 尾上 昇

地震、東京であいました。こわか

ったです。 小澤 幸男

結婚記念口です。 小笠原和俊

小笠原さん、元気ですネ。

荻葉 賢一

草野先生、大変お世話になりました。

た。 佐々木 功

次年度各委員長、副委員長さん、

本日はご苦労様です。 田崎 雅三

会長挨拶

会長 岩崎 征一

名古屋工業大学正門広場

名古屋工業大学正門広場は、名
工大創立90周年を記念して、21
世紀に向けての空間と時間を表す
シンボルとして、平成8年(19
96)に造られました。何か目的
を持って構成された幾何学的な広
場で、空中通路・正門・壁などで多
用された田弧がデザイン的なアク
セントとなり、洗練された形を作
り上げています。

設計を担当した若山滋氏は昭和
22年に父親の關係で台湾に生ま
れ東京工業大学大学院を終了後久
米建築事務所でミヤンマー中央農
業開発センター、筑波科学万博・
政府出典歴史館などを担当し、そ



の後名古屋
工業大学に
赴任しまし
た。今では
名古屋の人
として我々
名古屋の設
計業界のリ
ーダーとし
て活躍して
いただいで
います。

内藤さん、ありがとうございます
た。 渡辺 観永

卓話

「老筋力」

久野接骨院 院長

久野 信彦さん



久野接骨院の久野信彦でございます。
ます。どうぞよろしくお願ひ致し
ます。本日はこのような席にお招
きいただき、また、お話ができま
すこと大変に光栄でございます。

【臨死体験】

3歳と42歳の二度、臨死体験を
いたしました。特に42歳の時の体
験で私の人生観が大きく変わっ
た気がしております。

【著書「老筋力」との出会い】

☆平成20年5月 恒崎さん等

3週後、3社よりオファー。

(祥伝社/小学館/マキノ出版)

7月に、「11月に出版したい」旨

の報告が入る。(企画出版)

☆本ができてからまでの経緯

*全て忘れていた朝起きた時

*覚醒しちゃうーメモをとると

*テープレコーダー小ささまで

☆著書の特徴

*治療法のノウハウ・マル秘(料
理で言えば隠し味)の内容が、溢
れるくらい沢山掲載と運動療法
(3回は読んでほしい)

【筋力の基本永く続けるには】

- ①楽しんでやる
- ②難しい事はしない
- ③無理をしない
- ④目標を持つ(どこに筋肉が、
歩けたら行きたい所がある)

筋肉トレーニングについては、
時折「なかなか忙しくて続けられ
ない」という患者様がありますが、
食事の前に必ずとか、テレビを見
ながら、とにかく無理をせずに継
続的に行うことが大事となります。
クノンボールは気楽に継続的に
筋力ができるように私が開発い
たしました。

是非とも配布いたしました説明
書をお読みいただいて活用してい
ただきたいと思っております。本日はこ
清聴ありがとうございました。



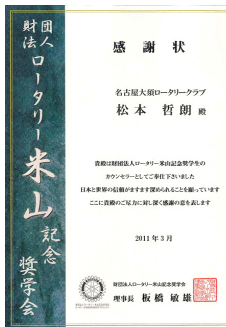
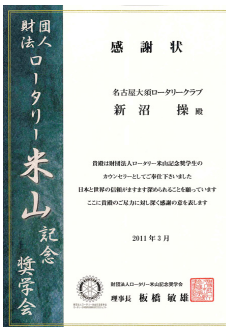
※クノンボールの使用法は NHK の朝
の全国ニュースで放送されております
ので「You Tube」でご覧下さい。
You Tu be ⇒ 検索「クノンボール」

感謝状披露

米山奨学生方カウンセラー

新沼 操
松本 哲朗

米山奨学生会より、当クラブカウンセラーへ感謝状が贈られました。



新沼操さんが病気療養の為、後半は松本哲朗幹事に務めて頂きました。



ニュージーランド 地震災害義捐金

3月10日の例会で集められた義援金は、合計で4万千円となりました。

「協力頂いた皆様、ありがとうございました。」



41,000円

国際ロータリー・ニュース

2011年3月15日

財団が「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設置

日本の東北地方を中心に発生した地震と津波による深刻な被災状況を受け、ロータリー財団は、被災地で長期復興支援を行うための「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設置しました。ロータリアンを始め、どなたでもオンラインで義援金を寄付することが可能です。また、クラブや地区は、現金寄付やDDF（地区財団活動資金）の寄贈を行うこともできます。

日本の記録史上最大となるマグニチュード9.0の地震に続き大津波が発生し、東北地域を中心とする多くの地域が深刻な打撃を受け、数多くの犠牲者や行方不明者が出ています。水と電力の供給が絶たれ、数百万の人々に影響が及んでいることに加え、少なくとも55万人が避難生活を余儀なくされています。さらに福島県の原子力発電所では放射線物質の外部露出が懸念され、何万人もの周辺地域住民に避難勧告が出されています。日本政府は懸命に状況改善に努めていますが、現在、地震と津波による被害総額は既に1,700億ドルに上ると推測されています。災害発生時、ロータリー関連の出張でホルトガルを訪問中だった



地震発生から4日後、倒壊した家屋から家財・道具を運ぶ人々。宮城県、気仙沼市。写真提供：共同通信

報告もいただきました。しかし、残念なことに、多くのロータリアンの方々とそのご家族の安否が未だに不明となっており、日本のロータリアンにとって安心できない状況が続いております」

研究グループ交換(GSE)

チームの安全を確認

大地震発生時、ロータリアンのロバート・ブラックバーンさん(米国イリノイ州、ウェストモント・ロータリー・クラブ)は、GSEチームのリーダーとして同チームの5人のメンバーと共に東京のホテルに滞在していました。「日本滞在の最終日で、建物全体が揺れているのが分かりました」とブラックバーンさん。「ちょっとやそっとの揺れではなく、延々と続くように感じられました。これほど恐ろしいことは今までの人生でもありませんでした」

揺れが治まった後、ブラックバーンさんは18階から階段で下まで降りたそうです。そこでチームの残りのメンバーたちと安否を確認しました。「空港が一時的に閉鎖され、数日間待機することになるか」と思いましたが、幸い運行が再開され、受入側の支援



もあって無事に空港にたどり着くことが出来ました」

田中会長ノミネーは、世界中のロータリアンが安否を気遣ってくれていることに対し、感謝の意を述べました。「ロータリアンの素晴らしいところは、喜びも悲しみもお互いに自分のことのようにシェアすることです。今回の大きな被害にも日本人は決してめげずに頑張り、互いに協力しながら復興に努力していくでしょう」

(記事 Ryan Hyland)

ロータリー財団が設置した「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」への義援金寄付については、JANETを閲覧ください。
http://www.rotary.org/Rdocuments/ja.pdf/japan_pacific_disaster_recovery_fund_ja.pdf

3月31日(木) 例会の案内

例会参事 4月3日(日) 春の家族旅行

— 徳川家菩提寺大樹寺へ

蒲郡プリンスホテル

* 出発 芸文センター南側 午前8時30分

広報委員会

近藤 明美・前田 隆久
近藤宏一郎・杉浦 令淑

* 本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。